

万葉の装い

まん

よう

よそお

額田王から淀殿、
そして今へ

よほどの

筆絹薄鴉文様衣 (京都染織文化協会所蔵)



平成 30 年

3 月 17 日 (土) ~ 5 月 6 日 (日)

主 催：奈良県立万葉文化館

協 力：公益社団法人 京都染織文化協会

休 館 日：月曜日 (月曜日が祝日の場合は翌平日)

観 覧 料：一般 600 円 高校・大学生 500 円 小・中学生 300 円

※その他割引は万葉文化館へお問い合わせください。

万葉衣裳の試着体験
開催期間：3月18日・25日
今回は特別に【日本遺産】
「日本国創成のとき〜飛鳥を翔た女性たち〜」の女帝達の衣裳も登場します。
【開催日】3月18日・25日
※4月以降の開催日はHPでお知らせします。
万葉文化館のHPをご確認ください。



日本遺産

万葉衣裳 de 大変身!



奈良県立万葉文化館

〒634-0103 奈良県高市郡明日香村飛鳥 10

TEL: 0744-54-1850 FAX: 0744-54-1852 HP: <http://www.manyo.jp>



1



2



3



5

万葉の装い

額田王から淀殿、そして今へ

1931年(昭和6)に初めて挙行された染織祭は、その当時、京都の葵祭・祇園祭・時代祭とともに京の四大祭と謳われるほど盛大に行われていました。

本展では、染織祭で使用された復元女性衣装(京都染織文化協会蔵)を中心に、復元の参考とされた小袖などを併せて展示し、昭和初期の高い染織技術と、今に続く日本の装いについて様々な視角からアプローチを試みます。

古墳時代から江戸時代まで、本展でご紹介する数々の衣装によって衣文化の変遷に触れ、時代を超越する女性の美をご鑑賞いただきたいと思います。

【会期中イベント】

学芸員によるギャラリートーク(※要観覧券)
日時: 3月18日(日) 13時~13時半



4

うつりかわる装いの美
昭和初期の染織祭をたどる

観覧料

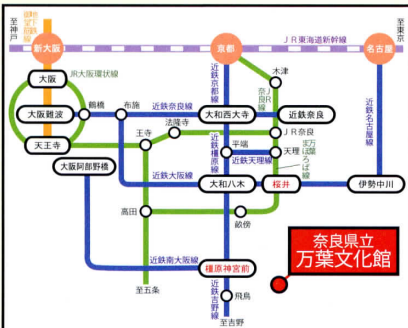
	個人	団体(20人以上)
一般	600円	480円
高校・大学生	500円	400円
小・中学生	300円	240円

その他の割引については
万葉文化館へお問い合わせください。

交通案内

- 西名阪自動車道天理インター又は柏原インターから車で40分
- 南阪奈道路葛城インターから車で30分
- 近鉄橿原神宮前駅東口、飛鳥駅よりバス(約20分)
→万葉文化館西口下車すぐ、タクシー(約10分)
- 近鉄・JR桜井駅南口よりバス(約20分)→万葉文化館下車すぐ
奈良交通バス案内: テレホンセンター ☎ 0742-20-3100

- 入館無料(日本画展示室のみ観覧料が必要です。)
- 駐車場のご利用は無料です。



奈良県立万葉文化館

作品写真 1. 段替雪輪松花綱文様小袖 2. 檜扇波頭文様小袖 3. 御所解文様振袖

4. 赤地唐花紋錦唐衣(1~4. 全て京都染織文化協会蔵) 5. 松村公嗣《花にほふ》部分(当館蔵)